

## 1. はじめに

2015 年となり、私の留学期間も残すところあとわずかとなりました。寒い日もありますが、体調も崩さず、元気に活動することができています。こちらは降雪量が少ないため、大変過ごしやすいです。12 月には、たくさんの住宅できらびやかなイルミネーションが見られました。図 1 に学校近辺の公園のイルミネーションを示します。この公園ではボーイスカウトなどの団体ごとにイルミネーションを行っており、コンテストも行われていました。



図1 イルミネーションの様子

## 2. Christmas について

Christmas はアメリカ最大の行事のひとつです。12 月に突入したとたん、イルミネーションが飾られ、お店にもクリスマスカラーの商品が多く見受けられました。Christmas はイエス・キリストの降誕（誕生）祭であり、様々な伝統があります。私は RHIT の近くのキリスト教会が行っている、イエス・キリスト降誕の劇を友人たちと見に行きました。教会の外には、劇で使用される場面ごとの模型が並び、役者さんたちの衣装も本格的でした。私たちは四角く固められた干草に腰かけて鑑賞させていただきました。劇中には本物のロバが登場したり、本場の Christmas carol を聞くことができたりと貴重な経験をすることができました。

また、お世話になっている教授の知人のお宅にもお邪魔させていただき、クリスマスクッキーの飾り付けをしました。日本では Christmas といえばケーキですが、アメリカでは種類豊富なクッキーを焼くのが伝統です。Gingerbread Man と呼ばれる人型の生姜風味のクッキーやツリー、鐘、星などかわいらしい形をしたクッキーに色鮮やかなアイシングで飾り付けをしました。日本では考えられないような色のアイシングもあり、楽しみながら飾り付けをしました。他にもチョコレートを練りこんだクッキーや、candy cane と呼ばれる飴の味のチョコレートを練りこんだクッキーもありました。たくさん焼いたクッキーはサンタクロースが来た際、食べてもらうようクリスマスイブの夜にミルクとともに置いておくそうです。

Christmas tree にも長い歴史と、家庭ごとのこだわりがあり、私がお邪魔したご家庭には 3 本の大きなツリーがありました。ひとつひとつのツリーごとにテーマが決められており、たくさんのオーナメントが飾られていました。図 2 に伝統あふれる Christmas tree を示します。



図2 クリスマスツリーの様子

RHIT 付近の路上では、Christmas Market も開催されていました。たくさんのお店が軒を連ねており、多くの人でにぎわっていました。また、Christmas tree contest や Gingerbread House contest も行われていました。図 2 に Christmas tree contest の様子を示し、図 3 に Gingerbread House contest の様子を示します。

College English の講義でも、Christmas の文化や伝説を学びました。クリスマスの食事やデザートには様々なスパイスや植物の香りが使用されることが多いです。例えば、シナモンやクローブ、もみの木などがよく知られています。それらの匂いを実際に体験しながら、学習することができました。このようなたくさんの体験を通して、日本にはない伝統的なクリスマスの文化を身をもって知ることができました。普段あまり学ぶことがないキリスト教について学ぶ、いい機会となりました。



図 3 Christmas tree contest



図 4 Gingerbread House contest

### 3. 科目の履修

1 月になり、新たな科目の授業にも慣れてきました。秋学期ほど時間をかけずに宿題をこなすことができるようになりました。専門科目はクイズやテストが非常に多く、苦労しながらもこつこつ勉強しています。12 月から引き続き Comp Anatomy & Physiology (解剖学と生理学) と College English と Japanese Society の 3 科目を履修し、Evolutionary Biology (進化生物学) を聴講しています。以下に科目ごとの詳細を示します。

#### Comp Anatomy & Physiology

動物の内臓や各器官の学習を終えて、特に血管系や呼吸器系の学習をしています。先日行った実験・実習の授業では、実際に私たちの体を使って実験をしました。心電図をとったり、脈拍や血圧を測りました。それぞれの測定方法を学んだ上で、次の週にはザリガニを用いて心電図を測定する実験をしました。ザリガニは、電極を深く刺すとすぐに内臓を傷つけてしまうので、細心の注意を払いながら作業をしました。なかなか思うような結果が出ず苦労しましたが、装置を改良したり、電極の接触を確認するなどして、グループメンバーと話し合いながら実験を繰り返し、なんとか心電図をとることができました。図 5 にザリガニの心電図測定の様子を示します。また、人間に構造的に近い、豚の胎児個体と羊の呼吸器官の解剖も行いました。KIT で学んでいるだけでは経験できなかったことをたくさんすることができ、うれしく思うと同時に大変勉強になります。今後も積極的に参加し、知識を吸収していきたいと思っています。



図5 ザリガニの心電図測定の様子

### College English

クリスマス休暇の後は、物語の読解をして全員でディスカッションをしたり、日常単語を他の言葉で説明し当てるゲームをしたりしました。宿題は生徒個人のレベルに合わせた速読教材を使用し、**Reading** の訓練をしています。また週に1回は **Conversation Group** に参加し、1時間チューターと会話をしています。それらと平行して先生から勧められたリスニング用のウェブサイトでの **Listening** の練習もしています。非常に豊富なコンテンツで、間違いやすい類似した発音の聞き分けを練習することができます。最近の時事ネタやニュースを取り入れての学習も行っています。最近では毎週担当者を決めて、アメリカの奴隷制度についてのプレゼンテーションも行っています。

### Japanese Society

一言で日本人といっても、その中には多様性があります。在日の外国人の方やセクシャルマイノリティの方もいます。このような幅広い多様性について映画や新聞記事を用いて学習しています。また日本には近年、ニートやフリーター、引きこもりになる若者がいます。このような状況を引き起こした日本経済や労働問題についても学んでいます。アメリカでは日本に関するニュースを特集するテレビ番組も多く、そういった映像を見てディスカッションを行っています。毎週、教科書の決められた **Chapter** を読んで、**Reading Note** を書かなければならないので大変ではありますが、こつこつ取り組んでいます。

### Evolutionary Biology (進化生物学)

最近、ダーウィンの進化論から現在多くの科学者に支持されている進化論にいたるまでの歴史を勉強しました。また、適応・多様性・進化のメカニズム・種分化・系統発生といった項目について講義を受け、それぞれについてディスカッションを行いました。

### 4. おわりに

ついに残りの留学期間も1ヶ月を切り、締めくくりの時期になりました。2月は目立った行事がないので、授業の受講が中心の生活になります。1回1回の授業を大切に受講し、できるだけたくさんのお話を吸収できるようにしたいと思います。後悔することのないよう、有意義で楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。